

## コストダウンで製品化が実現、介護・福祉分野で更なる飛躍

### 支援を受けた背景

●秋田大学の指導の下でアームバランスの開発を行っていたが、臨床事例が少ないことや情報の不足から、製品にフィードバックができずに研究開発が滞っていた。また、試作品も高額でコストダウンが求められていた。

### 利用した支援制度

- 産学官コーディネーター事業



### 取組の内容

アームバランスは、腕部運動機能障害のある障害者の支援装置で、秋田大学の指導の下で開発したものです。これまでも食事用の補助機器は販売されていましたが、日常生活全般にわたって使用できる支援装置は画期的なものです。それだけに開発は難航していましたし、またコストダウン化も困難な課題でした。

このことに取り組むため、あきた企業活性化センターの協力を得て、外部医療機関から有益な情報を入手することにし、県リハビリテーション・精神医療センターに試作品を提供して、改善点のアドバイスを受けることにしました。また、県内医療機関との連携を推進して、更に情報の収集に努めました。

コストダウンのためには、あきた企業活性化センターから、自社の内製部品でなく外注部品の使用を推奨され、センターの紹介で複数の企業から相見積を取ることに変更しました。

### 取組の効果

製品開発では、改善した試作品を使用して、県リハビリテーション・精神医療センターから十分なデータを得ることができました。また、それらと他の医療機関の意見を反映させたものづくりができるようになっていました。なお、製造コスト面では、約25%のダウンを達成しています。

### 今後の展開

新たに動物用超音波検査マットの製品化に取り組むなど、今後も福祉介護機器や医療関係機器の開発・製品化を進めることにしています。将来性が有望な介護・福祉機器メーカーとして、更なる飛躍を目指しています。

## Information



〒015-0013 由利本荘市石脇字田尻野10-224  
TEL:0184-23-0955  
URL:<http://www7.ocn.ne.jp/~mechatex/>

### 有限会社 メカテックス

#### 会社概要

《特徴》昭和49年に佐藤機械設計事務所として設立し、昭和60年に有限会社メカテックスに改組しています。当初、産業機械設計業務を主にしていましたが、平成8年から装置の組み立て業務を、そして平成14年から介護・福祉機器の開発を始め、注目を集めている企業です。

■代表取締役／佐藤敏美 ■設立／昭和49年1月

営業品目／精密機械機器の設計開発

Data